

## 交換留学帰国報告書

記入月日: 平成30年6月27日

氏名: 佐藤 恵美

留学時所属 & 学年: 国際地域学部地域創生アプローチ3年

留学先大学	ホーチミン市外国語情報技術大学
留学先国	ベトナム
留学期間	1 学期間
留学開始 - 終了日	2018 年1月16日 - 2018年6月20日

報告書上での氏名公開について（どちらかに○をつけてください。）

帰国報告書 : 公開を  希望します ・ 希望しません

月例報告書 : 公開を  希望します ・ 希望しません

### 【留学前: 留学に至った経緯や留学準備について】

#### 1. 交換留学を希望した動機について教えてください。

私は1年次の夏休みに大学の短期留学プログラムで韓国へ、春休みに学部の研修でタイへ行きました。2回の海外渡航を経て、日本とは違う海外をもっと知りたいと思い、留学を希望しました。国際地域学部では3年次に留学をすることができるので、自身のアプローチの関係も含めて今年度の前期に留学をすることにしました。

#### 2. 留学準備を始めた時期はいつ頃ですか。何から準備を始めたかについても教えてください。

9月から提出書類などについての説明会がありました。しかし、2月にあるテスト休暇の前に渡航するか、休暇後に渡航するかの問題で準備がギリギリになってしまいました。飛行機のチケットやビザ、海外保険の書類など全てそろったのは渡航三日前だったので、無事に留学できるのか少し不安でした。

#### 3. 留学先を決めた経緯について教えてください。また、派遣先の大学や現地情報についてどのように情報収集を行いましたか。

私のTOEFLの点数が540以上なかったため、その点数以下でも選べる大学で、ホーチミンにあるHUFLITに決めました。インターネットで調べたり、大学で留学先のパンフレットを貸してもらったりして情報を集めました。

4. 留学に向けての語学試験対策、各種語学能力試験などの受験回数について教えてください。

TOEFL ITP の試験を一年次から受けていました。

5. 留学準備を進める際に役に立ったことについて教えてください。  
(例: 助言教員、国際課、留学経験者からのアドバイス、大学情報ウェブ、留学オアシスなど)

留学開始時期をテスト休暇前か後どちらにするか迷ったときに、助言教員の先生からアドバイスをいただき、テスト休暇前に渡航することにしました。また、私の知り合いにベトナムへの留学経験がある人がいたので、疑問に思ったことは質問しました。

6. 渡航前の履修登録や単位認定に関して、苦労したことやアドバイスはありますか。

渡航前に考えていた履修予定の授業が、現地に着いてから英語で開講されないと知り、考え直す必要がありました。

## 【留学中: 大学生活や日常生活について】

### A. 大学生活

1. 大学の校風や雰囲気はどうでしたか。

メインキャンパスは7階建てで、授業前にはエレベーターにたくさんの学生が並んでいました。

2. 大学構内の設備(ネット環境、学習支援、スポーツ施設等)について教えてください。

学生が自由に利用できるWi-Fiがありました。

3. 参加していたサークルや部活はありますか。部員の数や活動内容、イベントなどについて詳しく教えてください。

3月から日本語クラブというサークルに参加しました。日本語を勉強している学生が多く、日本の文化に関連した活動を行っていました。

## B. 授業や勉強

### 1. 留学先で履修した科目

No.	科目名	担当教員名	時間数 /週	単位数	クラス内の 人数	授業内容、課題 (予習・復習など)
1	Human Resources Management	Vinh Thai	1	3	約 40 名	内容:ホテル業界における人的資源などについて
2	Labor Relations	Tu Truong	1	2	約 35名	内容:労働組合などについて
3	Accounting Principles	Thieu Nguyen	1	3	約 40 名	課題:次の授業までに問題を解いておく
4	Public Relations	Thong Pham	1	3	約 20 名	課題:プレゼンテーション準備
5	Microeconomics	Tuan Nguyen	1	3	約 50 名	内容:ミクロ経済について

### 2. 授業を受けるにあたって心掛けていたこと、努力や工夫をしたことはありますか。

分からないことは近くのベトナム人学生に質問して解決するようにしました。自宅では教科書を見て予習や復習をしました。

### 3. 学習面で困ったことや、その解決方法について教えてください。

私以外ベトナム人学生だったので、先生が学生に理解してもらえるようベトナム語で話すことがありました。私は分からなかったので、近くの学生に通訳してもらいながら授業を受けていました。

### 4. 授業スタイルはどのようなものでしたか(講義聴講、ディスカッション等)。また、それに対してどのような印象を持ちましたか。

主に聴講で、時々ディスカッションを行いました。日本の大学で受けていた授業の多くが聴講だったので、一方的な授業ではないことは良いと思いました。

### 5. お薦めの教員や授業などがありましたら教えてください。

--

## C. 居住環境や日常生活

1. 居住場所について教えてください。

形態	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他( )
部屋人数	( 1 )人部屋
寮・アパート名	House B
家賃に含まれた費用	<input type="checkbox"/> 光熱費 <input type="checkbox"/> 水道代 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット代 <input type="checkbox"/> 食費 <input type="checkbox"/> その他( )
ネット環境	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
室内設備	<input checked="" type="checkbox"/> ベッド <input checked="" type="checkbox"/> 机 <input checked="" type="checkbox"/> 椅子 <input checked="" type="checkbox"/> クローゼット <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> テレビ <input checked="" type="checkbox"/> シャワー・浴室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房機器 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (冷蔵庫、アイロン、洗濯機、湯沸かしポット、キッチン用品、ソファなど)
共用設備	(洗濯室、コンビニなど自由に記入してください。) 私はアパートの2階に住んでいて、1階の他の部屋とは玄関も別だったため、共用設備は特になし。

2. 大学、住居周辺の施設について教えてください。

(銀行、現地のスーパー、日本食レストランやスーパーの有無など)

大学周辺は病院、薬局、レストラン、ミルクティーのお店、スーパーなどがありました。自宅周辺は公園、スーパー、レストラン、カフェ、美容院、コンビニなどがありました。

3. 現地銀行開設の有無や、現金入手方法、クレジットカードの利用頻度などについて教えてください。また、留学費用や現地での支出の管理はどのようにしていましたか。

現地では銀行開設はしませんでした。現金はATMでおろしました。食費や雑費などには奨学金が振り込まれる口座のクレジットカードを利用し、家賃を払うときは現金を引き出せるキャッシュパスポートのカードを利用しました。

4. 渡航直後に必要だったものや、あって便利だったものを教えてください。また留学期間を通し、日本から持参すべきだったもの、持参しなくてもよかったと思うものはありますか。

ホーチミンは一年中暑いと聞いたので、半袖の服しか持って行きませんでした。しかし、室内は冷房がきいていて少し肌寒いと感じたり、日差しが強く肌が焼けやすかったりしたので、日本から長袖シャツやパーカーなどを持参すべきだったと思います。

5. 留学にかかる必要経費について教えてください。(現地通貨＝VNDドン)(例:USドル)

内容	金額	内容	金額
渡航費	約 26,000,000vnd	食費	約 20,000,000vnd
保険代	約 20,000,000vnd	家賃	約 50,000,000vnd
予防接種・ビザ代	約 4,000,000vnd	教科書代	約 400,000vnd
交際費(外食等)	約 20,000,000vnd	その他	

合計: 約 140,400,000vnd (約 678,635.95 円)

6. 文化・習慣の違いなどで気をつけていたことやアドバイス(服装・マナーなど)があれば教えてください。

悪い人がいると聞いたので、街を歩く際はスマホや財布などの貴重品の管理に気をつけました。道路を渡るときは走らず、横を見ながら慎重に歩いて渡りました。

#### D. 健康管理

1. 周辺の病院や学内での医療サービスについて教えてください。

大学の近くに病院が2つあります。また、薬局が多く、英語が通じるので、薬を買うことができました。

2. 留学中に通院や入院はしましたか。その際にかかった医療費はいくらでしたか。

いいえ、していません。

3. 渡航前に必要だった健康診断や予防接種、日本から持参した薬などはありますか。

海外製の薬を使うことに多少抵抗感があったので、風邪薬や頭痛薬、胃腸薬など、日本で使用していた薬を持参しました。

#### 【留学後:成果や今後の進路について】

1. 交換留学の成果について教えてください。

留学前に設定した目標が達成できたか/留学先での学業や生活を通して学んだこと/留学前に期待した以上に達成できたこととその理由/留学中、特に努力したことや心掛けたこと/留学を終えて変わったことなど

留学前に決めていた目標の一つである、日本語を勉強している学生と交流することは十分達成できたと思います。私は日本語を教え、彼らからベトナム語を学ぶことができました。日本語クラブの活動に参加した時はたくさんの学生に会いました。彼らの日本語は上手で、交流を

通してお互いの文化への興味・理解がますます深くなったと思います。また、学内で日本語スピーチコンテストが開催されたとき、私は何人かのスピーチの確認をしました。読み方や文法などを添削したり、実際に私が原稿を読んで録音したりしました。そのうちの一人がコンテストで一位になり、少しでも手伝うことができるとても嬉しかったです。

生活面では、今まで実家暮らしをしていましたが、留学中アパートでの一人暮らしを初めてしました。生活を送る中で、改めて感じたことは自己管理の大切さです。朝起床するときは自分で起きない限り誰も起こしてくれず、家事も自分でしなければなりません。面倒だと思ったときもありましたが、部屋は汚くなり、洗濯物は溜まったりするので、毎日掃除や料理などをするようにしました。

勉強面では、ベトナム人学生と授業を受けていて、彼らが英語を上手に話しているのを見てすごいなと思いました。最初は、先生から質問されても答えられないときがあり、自分の能力の低さを痛感しました。そのため、授業中は集中して話を聞き、自分の意見を伝えるようにしました。だんだん聞き取れるようになってきて、自分の英語能力の向上を実感できました。

留学を終えて、違う文化を最初から否定しないようにしています。ベトナムでは日本と違うところをたくさん発見しました。最初は受け入れるのが難しいなと思っていましたが、それらはベトナムという一つの国の特徴であり、良さであると思うようになりました。日本と同じようであったら、日本にいるときと何も変わらなかったと思います。

2. 留学中に達成が出来なかったことやその理由、反省点があれば教えてください。

悩みがあったときに、自分一人で抱え込んでしまい、体調が悪く元気が出ない時がありました。そのため、予定していた旅行を中止したり、休みの日は家から出ない日があったりしました。誰かに話を聞いてもらったり、相談したりするべきだったと思います。

3. 今後の目標や挑戦したいこと、進路や就職活動について教えてください。

自分の留学経験をたくさんの人に伝えたり、学内外の国際イベントに参加したりしたいです。就職活動に向けて、海外展開している企業について知りたいなと思っています。

4. あなたの留学先へ交換留学を考える福井大学生へのメッセージをお願いします。

大学がある 10 区は外国人が少なく、現地の人々が多いです。そのため、生活を送る中で現地の人々と交流できたり、文化を学べたりすることができます。HUFLIT には日本語を勉強している学生が多く、日本への興味をたくさん持っているので、彼らと交流することで、お互いの国にさらに興味を持つことができると思います。大学近くには日本食レストランがあるので、もし日本食が食べたいと思った時はその店を利用することができます。

ホーチミン市はベトナム国内で一番経済発展している都市であり、フランス植民地時代の建物や文化などが残っています。観光客も年々増加しているので、留学中は勉強だけでなく、観光も楽しめます。ホーチミン市から飛行機やバスなどで他の都市へ行くことができ、市内ではバイクタクシーを利用できるので、交通面は発展している方です。

私の留学経験から言うと、HUFLIT での留學生活は充実したものになると思います。他の大学と比較したら外国人留学生は少ない方です。しかし、ベトナムについて知りたい！ベトナム人の友達を作りたい！ そう思うなら HUFLIT を選ぶべきです。もし困ったことがあれば、HUFLIT の学生や職員の人に聞いてください。皆さん親切に対応してくれます。